



技師

マンモグラフィ(乳がん)検診を受けましょう

放射線科技師長 巻幡 弘

マンモグラフィとは

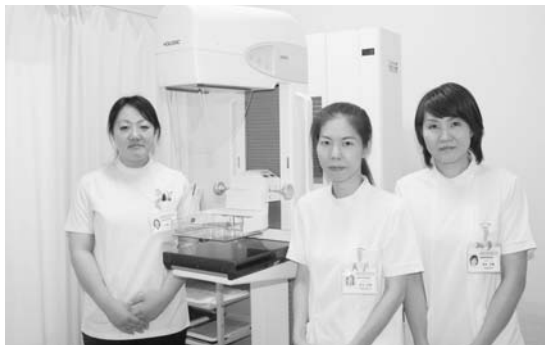
マンモグラフィとは乳がんを診断する方法のひとつで、乳房専用のX線撮影のことです。このマンモグラフィから、腫瘍の有無、腫瘍があった場合は大きさや形、早期乳がんのサインであるごく微小な石灰化を発見をすることができます。

マンモグラフィが有用な理由

日本人女性の約20人に1人が乳がんになるといわれており、決して特別な病気ではありません。マンモグラフィ検診が70%を超える欧米諸国では(日本では2%)乳がんて亡くなる方は減少傾向にあります。また、乳がんは早期に発見できれば治癒率が95%と非常に高く、早期発見で治せる病気であると考えることができ、マンモグラフィ検診は最も一般的で、有用な検査方法として推奨されています。

当院の撮影システムについて

当院のマンモグラフィ担当技師は、全て経験豊富な女性技師が担当しており、撮影装置は日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たした装置を使用しています。さらに、優れた撮影技術によるマンモグラフィ画像の証である、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会におけるマンモグラフィ検診施設認定も取得しております。最後に、マンモグラフィ検査での被ばくは、乳房だけの部分的なものなので、検査によって身体へ悪影響が出ることはありません。安心して受診して下さいませようお願いいたします。



マンモグラフィ担当技師



撮影装置 LoRAD M-IV



マンモグラフィ検診施設画像認定証

乳がん検診は11月より外科外来にて月～金の午後から行なっております。

受診されたい方は、外科外来にて予約を承っております。(予約可能時間：15時から17時)